



平成29年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 2600
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	5,882	4.6	655	△6.8	658	△5.9	425	△0.2
28年12月期第3四半期	5,625	33.1	703	37.5	699	36.5	426	50.7

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 442百万円 (△2.9%) 28年12月期第3四半期 455百万円 (45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	14.51	-
28年12月期第3四半期	14.56	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	5,550	3,865	66.3	125.59
28年12月期	5,355	3,568	63.5	116.09

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 3,681百万円 28年12月期 3,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00
29年12月期	-	0.00	-	-	-
29年12月期(予想)	-	-	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	6.2	1,060	4.5	1,060	4.5	670	1.9	22.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	30,955,000株	28年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	1,640,900株	28年12月期	1,654,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	29,309,149株	28年12月期3Q	29,265,447株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（平成29年12月期3Q：90,900株、平成28年12月期：104,600株、平成28年12月期3Q：104,600株）を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	5,882百万円 (前年同期比4.6%増)
営業利益	655百万円 (同6.8%減)
経常利益	658百万円 (同5.9%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	425百万円 (同0.2%減)

となりました。

当第3四半期連結累計期間はフィールドマーケティング事業、システム開発事業、出版事業が減収となったものの、eセールスマネージャー関連事業がそれを補い、増収となりました。一方、利益面は、eセールスマネージャー関連事業は増益となりましたが、他3事業の利益減少の影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも減益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

1. eセールスマネージャー関連事業

2017年10月2日発表の日銀短観によると、2017年度の日本国内のソフトウェア投資計画は前期比+7.6%と中堅・中小企業を中心に回復基調となっております。

そのような環境下、当第3四半期連結累計期間は、当社の主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」について、引き続き大型案件の獲得により売上が増加いたしました。また、営業課題にフォーカスしたコンサルティング、スキルトレーニングなども需要は根強く、堅調に推移いたしました。以上の結果、売上高は3,026百万円(前年同期比18.0%増)、増収効果によりセグメント利益は522百万円(同40.8%増)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大型案件の運用が安定したため、更なる成長に向け、これまでの店頭中心から業種や業務の幅を拡大した「フィールド・クラウドソーシング」という新たな事業コンセプトの下、新たな市場創出に向けた取り組みを行っています。

当第3四半期連結累計期間は、フィールド活動一括受託などストックビジネスにつきましては安定的に推移しているものの、店頭調査等のスポット案件については前年同期と比較して減少しており、また、更なる成長に向けて体制強化と新規事業への積極的な投資を進めたことなどにより、売上高は2,357百万円(同5.1%減)、セグメント利益は163百万円(同47.0%減)となりました。

3. システム開発事業

当第3四半期連結累計期間は、売上高321百万円(同14.4%減)、セグメント利益1百万円(同63.2%減)となりました。

引き続き既存顧客の深耕と新規顧客の獲得、プロジェクト管理の徹底に努めましたが、一部大型案件の規模縮小の影響により減収減益となりました。

4. 出版事業

当第3四半期連結累計期間の業績は、書籍販売の減少に加え、制作コストの増加や在庫評価減の影響により収益性が悪化いたしました。以上の結果、売上高は177百万円(同12.2%減)、セグメント利益は31百万円の赤字(前年同期は21百万円の黒字)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産	5,550百万円 (前連結会計年度末比 3.6%増)
負 債	1,684百万円 (前連結会計年度末比 5.7%減)
純資産	3,865百万円 (前連結会計年度末比 8.3%増)

となりました。当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ195百万円増加し、5,550百万円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が137百万円減少したものの、ソフトウェアが104百万円、差入保証金が94百万円、受取手形及び売掛金が74百万円、仕掛品が13百万円増加したことによるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ101百万円減少し、1,684百万円となりました。その主たる要因は、支払手形及び買掛金が45百万円、長期借入金が42百万円、未払金が31百万円減少したものの、前受金が104百万円増加したことによるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ296百万円増加し3,865百万円となりました。その主たる要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が278百万円増加したことによるものです。自己資本比率は、66.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成29年1月30日に公表いたしました平成29年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おさください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,177,101	3,039,358
受取手形及び売掛金	1,329,305	1,403,702
商品及び製品	44,694	38,140
仕掛品	132,069	146,019
繰延税金資産	46,281	51,813
その他	136,985	180,387
貸倒引当金	△8,036	△15,249
流動資産合計	4,858,401	4,844,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,092	64,399
減価償却累計額	△46,366	△49,089
建物及び構築物（純額）	17,725	15,309
工具、器具及び備品	265,547	302,289
減価償却累計額	△208,468	△231,121
工具、器具及び備品（純額）	57,078	71,168
その他	2,916	-
有形固定資産合計	77,720	86,478
無形固定資産		
ソフトウェア	322,527	426,760
その他	915	915
無形固定資産合計	323,442	427,675
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	84,075	178,128
長期滞留債権	45,193	47,736
繰延税金資産	6,009	8,422
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△45,193	△47,736
投資その他の資産合計	95,584	192,051
固定資産合計	496,746	706,205
資産合計	5,355,148	5,550,377

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,707	240,424
未払金	349,969	318,864
未払役員賞与	30,082	-
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	152,713	138,778
前受金	354,184	458,969
賞与引当金	47,052	70,302
役員賞与引当金	-	20,365
返品調整引当金	12,489	9,906
株式給付引当金	6,131	-
その他	245,883	161,389
流動負債合計	1,640,213	1,574,999
固定負債		
長期借入金	140,000	98,000
株式給付引当金	-	6,873
その他	6,136	4,818
固定負債合計	146,136	109,692
負債合計	1,786,349	1,684,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	2,461,302	2,739,571
自己株式	△253,574	△251,820
株主資本合計	3,401,588	3,681,610
非支配株主持分	167,210	184,075
純資産合計	3,568,798	3,865,685
負債純資産合計	5,355,148	5,550,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,625,984	5,882,399
売上原価	3,600,589	3,658,937
売上総利益	2,025,395	2,223,461
販売費及び一般管理費	1,321,667	1,567,890
営業利益	703,728	655,571
営業外収益		
受取利息	314	126
助成金収入	2,365	2,769
違約金収入	-	1,537
保険解約返戻金	-	181
その他	96	93
営業外収益合計	2,776	4,709
営業外費用		
支払利息	1,313	995
為替差損	5,498	1,023
営業外費用合計	6,811	2,018
経常利益	699,693	658,261
特別損失		
固定資産除却損	-	1,238
特別損失合計	-	1,238
税金等調整前四半期純利益	699,693	657,023
法人税、住民税及び事業税	191,596	222,810
法人税等調整額	52,856	△7,945
法人税等合計	244,452	214,865
四半期純利益	455,241	442,158
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,198	16,864
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,042	425,293

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	455,241	442,158
四半期包括利益	455,241	442,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426,042	425,293
非支配株主に係る四半期包括利益	29,198	16,864

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「返品調整引当金戻入額」は、金額的重要性が乏しいため、当第3四半期連結累計期間より「売上原価」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」に含まれている「返品調整引当金戻入額」の金額は324千円であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	eセールスマ ネージャー 関連事業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上 高	2,566,211	2,482,876	375,293	201,603	5,625,984	-	5,625,984
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	18,422	9,981	36,231	2,055	66,690	△66,690	-
計	2,584,634	2,492,857	411,524	203,658	5,692,675	△66,690	5,625,984
セグメント利益	371,389	307,532	2,945	21,849	703,716	11	703,728

(注) 1. セグメント利益の調整額11千円には、固定資産の調整197千円、棚卸資産の調整額△186千円が含まれて
おります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	eセールスマ ネージャー 関連事業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上 高	3,026,986	2,357,110	321,212	177,089	5,882,399	-	5,882,399
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	21,913	2,638	45,493	-	70,044	△70,044	-
計	3,048,899	2,359,748	366,706	177,089	5,952,443	△70,044	5,882,399
セグメント利益	522,760	163,104	1,084	△31,176	655,772	△201	655,571

(注) 1. セグメント利益の調整額△201千円には、固定資産の調整47千円、棚卸資産の調整額△248千円が含まれ
ております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。